

比良保育園から15分ほど歩くと琵琶湖に着きます。琵琶湖岸をフィールドにプログラムを作りました。
(対象：2歳児 21名)

1回目は講座、下見とプログラム作り、2回目は作成したプログラムの実践とふりかえりです。講座の一部を紹介します。 講師 島川武治(しまっち)さん

今回の講座では、命の大切さについて学びました。自然体験は、生きものと直接触れることで、命の大切さを学びます。

しまっちさんのお子さんが、大好きな蛙を踏みつぶしました。しまっちさんは悩んだ末、「命は一つなんだよ」と言ったそうです。その後息子さんは「命は一つ、命は一つ」と言うようになり、踏みつぶさなくなりました。

もし園でこのようなことがあったとき、子どもの気持ちを傷つけるようなことはしたくなく、まず子どもの気持ちを聞き、受け止めてから話したいと、ほとんどの先生が言っておられました。しまっちさんは、そのときどんな気持ちだったかを子どもたちに聞いてみたいと言っておられました。

また下見に出たとき、「自然のものは無限ではないので、すべてを持って帰らないように！！何でも持ち帰ると、子どもたちも持って帰ようになります。」と注意されました。



下見の様子



プログラム作り

「そーっとすりすりしてごらん」のプログラム

湖岸で好きな自然物を探し、その自然物を身体のいろいろな部分にこすって、感触を楽しみます。自然物の感触を楽しみながら、浜にはさまざまな自然物があることに気づくプログラムです。



そっとしない
といたいよ！



手にすりすり

つるつる
やで。

ドングリを先
生の手にすり
すり！



浜にはいろいろな自然物があったことや
さまざまな感触があったことなどを子ども
たちと話し、楽しかったことをふりかえり
ます。

「ぼくのわたしのごちそうをつくろう」のプログラム

湖岸で興味をもったものを集め、食べものに見立てて、ごちそうを作ります。作ったごちそうを波打ち際に持っていき、琵琶湖の魚にあげます。

まだやでー。



枯れた松葉を焼きそばに見立てて焼きそば作り

もうできた？



おおきなおにぎり
とキャベツと
魚とたまごとハン
バーグできた。

カニやカメに
あげる。



お魚さんが食
べたんや！

棒きれで魚釣りをして、葉っぱの魚を釣り、焼いて皿にのせる子どもや、できたごちそうを支援者に食べてほしいと言いに来る子どもたち、それぞれがごちそう作りを楽しみました。最後には波がごちそうを持っていったのを見て、「お魚さんが食べたんやー」と言っていました。

「いい音を見つけよう！」のプログラム

湖岸で波などの音を聞いた後、ペットボトルの小さな口に入るぐらいのお気に入りを見つけ、それを中に入れて音を楽しみます。

塩を入れます。



小石を入れる

ごまを入れます。



ドングリを入
れる

音をなら
そう。

ウォー!!



小石を塩に、ドングリをごまに見立てるなど、子どもたちのつぶやきは、前のプログラムの続きになっていました。耳をすますと波の音や鳥の声などいろんな自然の音が聞こえてきます。ペットボトルで作った楽器を琵琶湖に向かってならしてみました。

2歳児対象の自然体験プログラムは初めての試みでした。2歳児は、試してみても自分のものにしていきます。その意味でも自然体験のプログラムで得られるものは多いと思いました。2歳児は果てしない創造性、可能性を持っています。3つの自然体験プログラムを集中して、楽しんで受けることができました。



秘密基地発見